超音波の測定グラフを解析・評価する技術を開発

報道関係各位
2011年11月16日
超音波システム研究所

超音波の測定グラフを解析・評価する技術を開発

超音波システム研究所は、
超音波の非線形性に関する「測定・解析・制御」技術を応用した、
超音波のダイナミック特性を解析・評価する技術により、
測定データのグラフから
超音波の状態を＜解析・評価＞する技術を開発いたしました。

超音波テスターを利用したこれまでの
計測・解析により
測定グラフの特徴を目視確認することで
超音波の各種効果（注）を評価する方法を開発しました。

注：
非線形効果
加速度効果
定在波の効果

時系列データの各種フィードバック解析と組み合わせることで
詳細な各種効果の関係性とともに
キャビテーションの効果についても検出できます。

特に、音圧レベルが高くても洗浄効果の小さい事例・・
について納得のいく確認・管理が行えます。

参考

超音波の測定に関して

サンプリング時間・・・の設定は
オリジナルのシミュレーション技術を利用して決定しています

なお、今回の技術を
脱気・マイクロバブル発生装置との組み合わせにより
超音波利用に関する
（各種の超音波効果を目的に合わせて）
伝搬周波数を制御する技術として
コンサルティング提案させていただく予定です。

【本件に関するお問合せ先】
超音波システム研究所
URL：http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com